ろらんずめいつ、わるきゅぅれっ！

 プロローグ

「ふぅ、あむ、あい？」

　それがぼくの覚えている、一番古い記憶だ。車いすに乗った、目の不自由な女の人に、ぼくはそう聞いた。どうして英語で聞いたのか、ぼくにも分からない。かた方のゆびで数えられるくらいのねんれいだったころの事なので、まだ英語は習っていなかったはずだ。使えるはずもない。そのあと、女の人にどう言われたのかも、わすれてしまった。でも、ぼくがそう言ったことは間違いない。

あの人にそう言ったから、ぼくの生活は、その日からがらりと変わってしまったからだ。